

佐藤多佳子さんの小説「一瞬の風になれ」を読んで、4 継の大ファンになった。高跳びが題材の漫画もあった。今日は、陸上部3 年生にとっては最後の大会。場所は、改修が終わったばかりの L A ・ P I T A 東員スタジアム▼フィールドはグリーン。トラックは、レンガ色のタータン。最近
は、ブルーのタータンを見かけるが、レンガ色のタータンの歴史や高速タータンについて語れる人は、スペシャルな人▼フィールドとトラックそして青い空の下、グレーを基調としたピンクの差し色のランニングとピンクのスパッツがよく映える。遠くにいてもよく分かる▼個人種目なので、出場する子どもたちは、あっちこっちに散らばっている。顧問の先生にいただいた大会要項で、競技順と出場する子を確認めながら観戦した▼招集は 20～30 分前だが、トラック競技はスタートすると、数秒か数分で終わってしまう▼スタンドからは、細かい表情は見て取れないけれども、スタート前のルーティンからは、真剣勝負を前にして、心整え集中を高めようとしていることが伺える。
「On your marks」「Set」と聞いただけで、ワクワクした▼個人種目の醍醐味は、過去最高の自分と戦うことである。自己ベスト更新は、自分への御褒美。競技はまさに一瞬の風。2 日間その風を存分に味わった。とてもたのしかった。1 年生のあなた、一緒に応援ありがとう。